

令和 2 年 6 月 30 日

＜将棋同好会令和 2 年活動報告（4-6 月）＞

世話人 小黒光昭

○3 月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置に伴うカネクラブ閉館により、3 月、4 月、5 月の活動を休止していたが、6 月から閉館解除となったため、活動を 6/29 より再開した。

○6 月 29 日（月曜）

本日の参加は、世話人と橋本氏の 2 名。今後の参加者増を期待しながら活動を活発化していきたい。囲碁同好会も本日から活動を再開されていた。

なお、当日、将棋を趣味とされていると記載のあった山本恒雄様が、当日開催されていた写真展を観覧されるためクラブに来られていたので、改めて将棋同好会活動への参加をお願いしたが、良いご返事は頂けていない。

（本日の対局結果） 2 局対局し小黒の 2 勝

・この二人の対局では相居飛車の戦いが多い。本日も 1 局目は、橋本の矢步取り戦法模様に対する先手小黒の 7 七金上がりによる矢步取り拒否対応の戦い。以後、橋本は比叡飛車作戦により 2 筋からの攻略、右玉作戦に転じたが、小黒の、敵玉方面への攻撃圧力を高める作戦が功を奏し、一步早く敵玉を討ち取った。

2 局目は今プロでも流行りの角交換腰掛銀の戦い。小黒からの、機を見た角切りからの飛車筋からの敵陣突破で龍（飛車成り）造りに成功、やや有利になったと思われたが、橋本の粘り強い受けのため、形勢は混とん、橋本の反撃が開始され、小黒危うしの場面となった。ここで、小黒に受けの妙手が出て、敵の攻撃を一手遅らせ、攻めを早めることが可能となり、橋本が一手届かず小黒の勝利となった。

○プロ棋士出口四段情報。

プロも四月から新しい期に入っている。出口四段は四月に入って二連敗と心配させたが、以後六月末まで三連勝と上向いてきた。最も重要な戦いである順位戦（名人戦）で初戦に勝利した。この戦いは年間 10 戦戦い、上位 3 名が上のクラス（C2⇒C1）に昇級できる。いままでの経験では低順位者は昇級には 1 敗も許されない厳しい戦い。また、第 92 期ヒューリックス杯棋聖戦一次予選では 14 名中ベスト 4 まで勝ち上がっている。一次予選、2 次予選通過者 8 名とシード権保持者 8 名で決勝トーナメントが行われ、勝者が時の棋聖に挑戦できる。現在第 91 期棋聖を争い、藤井 7 段が現在の渡辺棋聖に挑戦中で 5 戦の戦い中 2 連勝しており、藤井 7 段は棋聖位獲得に後 1 勝と迫っている。